丹波篠山市立味間小学校　スクールプラン（学校経営方針）

◆学校教育目標◆

夢や目標を持ち、将来にわたって学び続ける児童の育成

□明るいあいさつができる子

□自分からすすんで取り組み課題を解決する子

□負けない心、やさしい心と強い体をつくる子

めざす児童の姿

〇明るいあいさつを通じて、思いやりの心を持つことのできる子

〇自分の学び方を身につけ、自ら考え、意欲的に学び続ける子

〇体を動かす楽しさを感じ、健康でたくましい体力を備えた子

めざす教師像

〇役割を自覚し、創造的なアイデアを生み出す

〇児童が将来にわたって自分の「学び方」を持てるように指導する

〇児童の共感的理解に努め、それぞれの個性をより発揮できるよう指導する

本年度の重点取組

◇未来に挑戦する児童の「生きる力」の育成

◇自ら学び自ら考える授業の創造

◇自治的活動能力の育成と望ましい生活習慣の確立

◇コミュニティスクール（学校運営協議会）の充実

◇ふるさと味間を愛する児童の育成

◇豊かな人間関係と人権感覚の育成

◇体力・運動能力の向上と食育

授業をつくる
～児童の主体者意識を育む１０のコツ～

①教師の説明を短くする。
②教師がオウム返しをしない。
③教師が「実は・・・」と言わない。
④教師が一問一答で終わる発問はしない。
⑤児童に聞き返しをできるようにする。
⑥児童が「〇〇がわかりません」と言えるようにする。
⑦児童の「学び方」「学びのプロセス」をほめる。
⑧今の学びが将来につながることを示す。
⑨課題解決の根拠となる資料を児童に用意させる。
⑩児童を学び続ける崇高な存在と見る。

主体的な学びを深める教育活動

学力向上

〇主体的学習意欲の向上

〇主体的・対話的で深い学び

〇自分たちの学習を自分たちでつくる

〇対話的な学習による確実な理解

〇発達段階に応じた予習、復習の充実

生徒指導

〇自分たちの生活を自分たちでつくる

〇いじめの問題を児童自ら考える場の設定

体力の向上

〇運動の楽しさを感じながら、目標の達成に向けて深く考えて取り組む

主体的に研修を深める組織

研修・研究による指導力向上

〇新学習指導要領に基づく実践

〇新しい教育課程の創造

〇新たな時代に対応できる資質能力を育むための授業づくり

〇対話を通して学びを深める学級経営

〇目標と手段の明確化

効果的な組織運営

〇服務規律の徹底

〇業務の効率化と改善

学校評価の充実

〇自己評価、学校関係者評価の質の向上

〇PDCA サイクルを充実させた学校評価